

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 『日本語日常会話コーパス』から見える日常会話の韻律的特徴

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石本, 祐一 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00003349">https://doi.org/10.15084/00003349</a>

石本祐一（コーパス開発センター）

## 日常会話音声の多様性

- 日常会話においては、会話の相手・場所・状況などによって、音声特徴がそれぞれ異なる発声がなされていると考えられる
- これまでの音声コーパスに収録されている自発発話では、聞き手の属性や収録環境が限られていることから、多様な日常会話の特性を捉えることが難しい
  - 『日本語話し言葉コーパス (CSJ)』：講演・インタビュー
  - 『千葉大 日本語地図課題対話コーパス (MapTask)』：決まった相手との課題遂行対話
  - 『宇都宮大学 パラ言語情報研究向け音声対話データベース (UADB)』：大学生の友人同士の課題遂行対話
  - 『千葉大学 3人会話コーパス (Chiba3Party)』：友人との雑談など
- 『日本語日常会話コーパス』：様々なタイプの日常会話をバランス良く納めた大規模コーパス
  - **日常会話で生じる自然な日本語音声の特性を調べることが可能！**

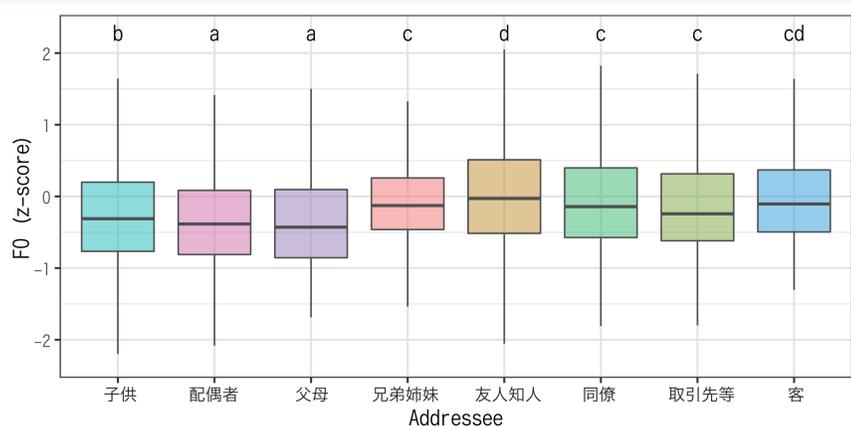


日常会話は多種多様な相手・場面が対象

## 会話相手と基本周波数の関係

- 日常会話音声の韻律的特徴のうち、声の高さに関わる基本周波数 (F0) に着目し、**日常会話において会話相手の属性によって声の高さが変わるのか**を調査した
  - 『日本語日常会話コーパス』モニター版に収録されている収録協力者 (インフォーマント) の音声を対象
  - 1ms ごとに F0 を算出し、話者ごとに z-score に変換して正規化 → 発話単位の平均を求めた

### ■ インフォーマントの F0 とインフォーマントから見た会話相手の立場の関係を見ると ...



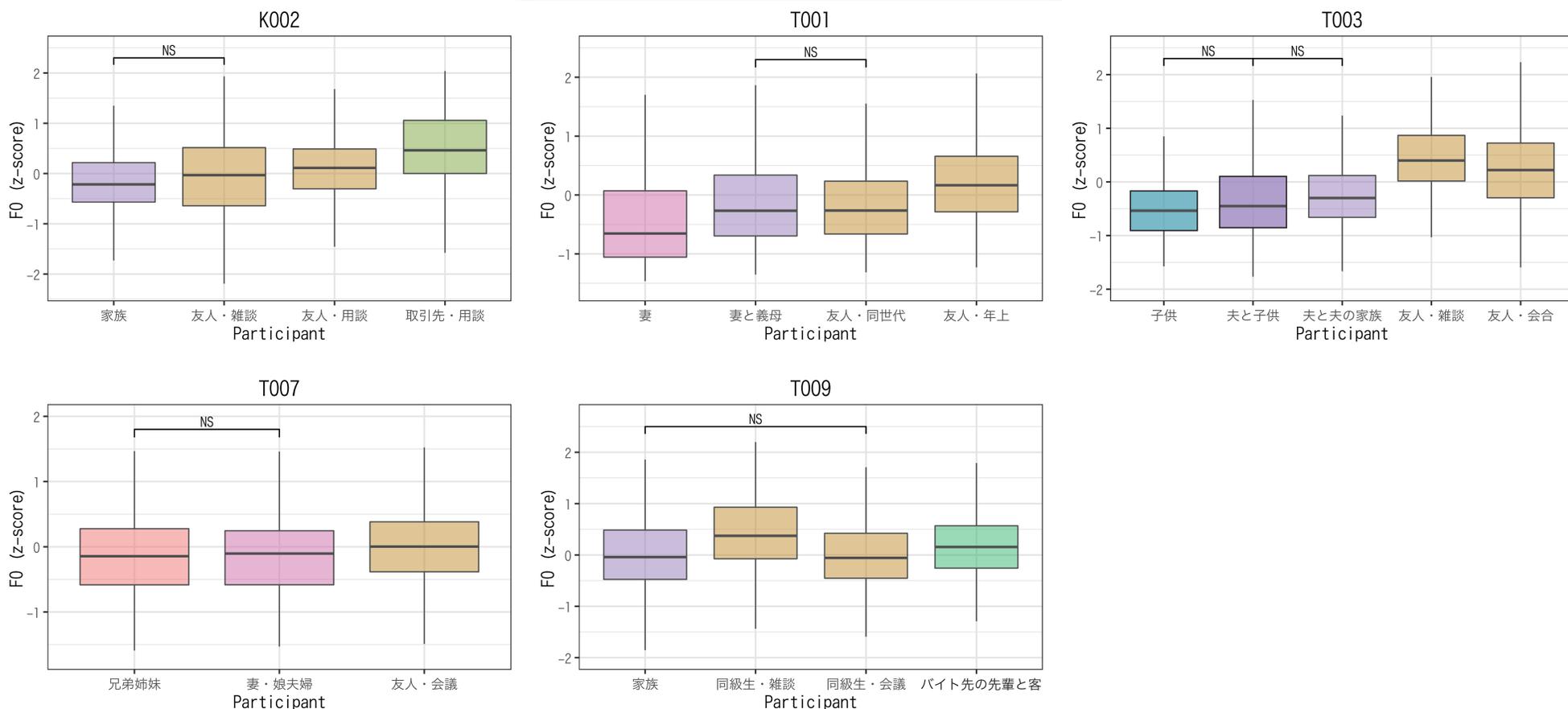
インフォーマントの F0 と会話相手の属性 (全体)

- 子供・配偶者・父母が相手の場合には F0 が低くなる傾向がある
- 友人知人が相手の場合が一番高い

### インフォーマント

ID	年齢	性別	職業
C001	40-44歳	女性	会社員・役員・公務員・専門職
C002	55-59歳	女性	会社員・役員・公務員・専門職
K001	35-39歳	女性	会社員・役員・公務員・専門職
K002	50-54歳	女性	自営業・自由業
K003	20-24歳	女性	大学生
K004	40-44歳	女性	パート・アルバイト
S001	50-54歳	男性	会社員・役員・公務員・専門職
T001	35-39歳	男性	自営業・自由業
T002	40-44歳	男性	自営業・自由業
T003	35-39歳	女性	専業主婦・主夫
T004	60-64歳	女性	専業主婦・主夫
T006	25-29歳	男性	大学院生
T007	70-74歳	男性	無職・定年退職
T009	20-24歳	女性	大学生
T010	20-24歳	男性	大学生
T013	65-69歳	男性	会社員・役員・公務員・専門職
T015	50-54歳	男性	会社員・役員・公務員・専門職

### ■ インフォーマントの F0 と会話の同席者との関係を見ると ...



インフォーマントの F0 と同席者の属性

- 共通して、**家族には低い声**で話す → 義母が同席しているとやや高くなる (T001) → 家族間でも違いが生じる
- 用談や会議よりも**雑談は高くなりやすい** → 雑談の方が低くなる場合もある (K002) → 会話内容や状況の分析も必要
- 取引先やバイト先のような**接客場面では高くなる**

・ **日常生活において、相手の属性によって声の高さを変えている** → 会話場面なども考慮した詳細な分類を行うことで、より明確な特性が得られる可能性がある